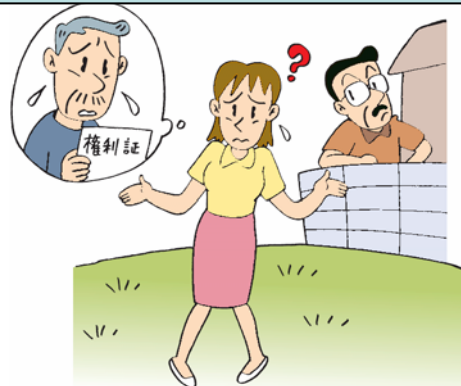


公図と現況がずれていても現在の土地の所有に影響はありません。

今回公表される資料は土地の所有に関わるものではありません。この情報が公開されたために現在所有している土地が増えたり減ったりすることは一切ありません。

・・・ただし公図が現況と一致していない地域では、将来こんなトラブルが起こるかも知れません・・・

### 位置が分からず十分活用できない



土地の正確な位置が分からなければ間違った場所に塀や倉庫を建ててしまったり、隣地との境界争いになることがあります。

### 土地の売買が思い通りに出来ない



隣地との境界確認が完了しないために思い通りの時期に売れなかったり、登記簿と実測の面積が異なりトラブルになることがあります。

### 万一の災害時に復旧が困難になる



万一の災害(地震や土砂崩れ等)の後、元の土地の境界が分からないと復旧に時間がかかったり、元通りに戻せないことがあります。

### 必要な公共事業がなかなか進まない



必要な公共事業でも計画を立てるのに時間がかかったり、用地買収に時間がかかって工事に取りかかれなかったりすることがあります。